



ソルニチニチソウ（楽しい思い出）

## 体育大会が開催されました！



5月10日（土）、体育大会が行われました。今年度のテーマは「Story～最高の人生の1ページに～」。今年度は、学年種目を増やすとともに、1組・2組・3組のクラスごとに縦割りチームを組み、心に残るような思い出になるよう取り組みました。

前日から夜通し降り続けた雨に、「大丈夫かな」と不安でいっぱいでした。学校に來ると、薄暗いうちから懸命に運動場の排水をする半川先生の姿があり、その後も先生たちが次々駆けつけ、うれしいことに生徒のみなさんも7時頃から次々と登校し、一緒になって排水作業を手伝ってくれ、運動場整備が間に合いました！ 本当にありがとう！ 自主的に早く登校して手伝う姿に、大感動しました！ これからも、このようなボランティア精神を「白岳中の良き伝統」として、ぜひ残していきましょう！

本番では、どのクラスも予行以上に全力で頑張っていましたし、競技だけでなく学年を越えて応援し合う姿に「チームとしての絆」を感じました。どのチームにもやり切った感があり、大会後のチーム別集会では、勝敗に関係なく全員で喜び互いをたたえ合う姿がありました。その一人ひとりの成長した姿そのものが「勝利者」だと思います。朝のボランティアから最後の大盛り上がりの集会を含め、白岳中体育大会に新たな歴史を残したのではないのでしょうか。みなさんの心には、どんなストーリーが残りましたか？

# 自分の弱さに向き合う勇気を持とう！

## 『自分の弱さと戦え』内容

障害を克服して車椅子テニスで世界1位をめざす国枝慎吾さん。上位に食い込めず悩む彼に、指導者のクインさんが「自分は最強だ！」と叫ぶよう命じる。戸惑いつつ叫ぶ中で、自分を信じることや弱い自分をありのまま見つめることの大切を学び、練習に励んで見事1位に。その後も、「自分の敵は自分」の思いで日々精進する。  
(教材：『あすを生きる②』日本文教出版)

先週の道徳では、「弱さの克服」をテーマにした教材で学習を行いました。

「『自分は最強だ！』と叫べ」とは少し驚きの指導でしたが、クインさんは強敵に「勝てるのか？」と自分の力や可能性を信じ切れず、自分で限界を決めてしまっている国枝さんの心の弱さを断ち切るうとしたのかもしれませんが。

世界1位になった後も、「自分の敵は自分」と踏み留まろうとする自分を排し「さらなる高み」をめざす行動に、克己（自分に勝つ）を貫く「人生の勝利者」の姿を見る思いがしました。誰でも弱さがあります。大切なのは、それと向き合い乗り越えること。そのためには何が重要か。先生は、その1つは「**勇気**」だと考えます。みなさんは、どうですか。

## みんなの声

### 『自分の弱さと戦え』とは？

- 有能な敵より、自分の中にある無能な自分と戦うことで限界を突破できる。
- 本当の対戦相手は自分だということを忘れず努力し続けること。
- 逃げたいことにも全力で挑戦すること。
- 相手ではなく自分の弱さを見つけ、自分を磨いて過去の自分と戦うこと。
- 弱さと戦い、勝てば弱みが強みになる。
- 自分の弱さに本当に勝つことができる。今以上に強くなることができる。
- 自分はここまでと決めず、自分の限界を超えていくこと。
- 自分のよいところで弱さをなくすこと。

### 自分の弱さを克服のためには？

- 自分の弱さをマイナスに見るのではなく、プラスに見ること。
- 自分の苦手なことから逃げるのではなく、立ち向かっていく。
- 人や環境のせいにせず、努力する。
- 目標を決め、それを言うか紙に書いてたりして、やってみる。
- 一番のライバルに負けてもくじけず、自分の一番の目標に向かって頑張る。
- 人と比べるのではなく、自分自身を信じるのが大切だと思った。
- 心の中で「自分はどんなことでもいける」と思い続ける。
- 何事も最大の力を出して取り組む。
- 周りの人に感謝し、精一杯頑張る。

※ 意見は要約しています！

# 21・22日は中間試験の日！

いよいよ、2年最初の中間試験です！道徳でも試験をふまえ、「スマホを我慢して勉強を頑張る」と書いた人もいました。それも弱さの克服ですね。テストも、究極は自分との戦いです。人と比べず、自己ベストをめざそう！

